

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス・アニマートいけぶくろ			
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 18日		～	令和6年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 18日		～	令和6年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラム	療育や集団活動など、担当者を決めてそのものを中心として内容を決めています。各児童の課題設定は定期的にカンファレンスを行い、達成状況や適正状況を話し合っています。集団活動では1カ月の予定を立てて、毎月新しいレクリエーションを取り入れたり季節行事に関係したレクリエーションを行っています。	今後も定期的カンファレンスを行い、児童の発達状況にあった療育を提供出来るよう努めて参ります。
2	職員間での連携	送迎時や事業所内での児童の安全を確保するために、職員の配置や職員間での声掛けを密に行っています。	引き続き声掛けを密に行い、児童の安全対策をはかって参ります。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人材の確保	環境が整わず、人材が中々定着しない状況です。	コミュニケーションを図りながら、働きやすい職場環境を整備して参ります。
2	人材育成	人材が定着しないことにより、職員によって支援技術に差が出ている状況です。	日々の申し送りやカンファレンス等で情報共有して支援の統一をはかったり、内外研修に積極的に参加し個々のスキルアップをはかって参ります。
3			